

地域密着型サービスの開始

「ケアセンターりんどう」1周年

通所介護部門長 小針 宏

いつもあたたかいお力添えをいただきましてありがとうございます。お陰様で、平成25年4月1日、開設(業態変更)1周年を迎えました。この1年間、地域に密着した小規模単位で、認知症の方々に「寄り添い」より身近で安心なケアをスタッフ一人ひとりが心がけ実践してまいりました。これは平成4年7月より通常型通所介護として開所以来、積み重ねてきた基礎があったからこそ成し得たと自負いたしております。さらに専門性を高めるため、神奈川県・認知症介護実践者研修へ自らのスタッフを受講修了させ配置し、「きめ細かな寄り添いケア」に取り組んでまいりました。

今後、ケアセンターりんどうは認知症対応型通所介護事業所としての重責とケア推進者として、地域ケアに寄与・貢献できるよう、一層の努力をしております。さらなるご支援賜りますようお願い申し上げます。



バナナを手に取り、品定め？



近所のお店でお買い物！

《生活機能の向上を目指して》
職員と共にお買い物

新たなる鎌倉静養館の形成



特養鎌倉静養館設立30周年



記念映画会で挨拶をする
西崎猛之理事長
萩原克 特養施設長



「三十周年記念映画会」にご来席くださり、松尾崇鎌倉市長のお祝いのメッセージをお伝え下さいました
鎌倉副市長の瀧澤由人様



社会福祉法人鎌倉静養館
理事長 西崎 猛之 様

「特養鎌倉静養館」が開設30周年を迎えましたことを、心よりお祝い申し上げます。

西崎理事長をはじめ、スタッフの皆様が30年という長きにわたり、特別養護老人ホームの運営に意欲的に取り組んでこられたことに深く敬意を表します。

昭和58年に開設されました「特養鎌倉静養館」は、鎌倉市内で2番目に整備された特別養護老人ホームで、介護保険制度ではもちろん、それ以前の措置の時代から本市の高齢者福祉を支える屋台骨としてますますその存在感を高め、なくてはならない存在となっています。

鎌倉市といたしましても、皆様と共に地域全体で高齢者の生活を支えていく環境づくりに、より一層積極的に取り組んで参りたいと考えておりますので、引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この記念すべき節目の年に「映画会」という地域の皆様の笑顔が溢れるような温かいイベントをご企画いただいたことに、感謝申し上げますと共に、特養鎌倉静養館及び社会福祉法人鎌倉静養館のますますのご発展と、皆様のご多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成25年4月25日

鎌倉市長 松尾 崇

特養鎌倉静養館設立30周年記念映画会

2013年 4月25日(木)
14:00~16:00
(開演/13:30) 入場無料
会場:鎌倉市生涯学習センター(1階)特別養護老人ホーム

最強のふたり

2011年映画賞。1990年代で最も偉大な作品。戦時中、中東の戦場から帰国した兵士が、1775年、私人生活の中で生きる事になった。命に代わって愛する妻と子供を救う。感動的な映画。お祝い申し上げます。

申込方法:住所はがきに住所、氏名、電話番号を明記の上、宛先までお申込みください。
宛先:〒248-0004 鎌倉市由比ガ浜4-4-30 特養鎌倉静養館記念映画会係
TEL: 0467-22-1001 FAX: 0467-22-1001

料:3/31(日) 郵券
100名様以降 郵券多数の場合は別途

主催:社会福祉法人 鎌倉静養館
© 2013 TOKUYAMA / SHINKO / 191 FILM PRODUCTION / 191 FILM / SHINKO

一特養鎌倉静養館設立30周年記念-
映画会『最強のふたり』
4月25日(木) 於:鎌倉市生涯学習センター



一特養鎌倉静養館設立30周年記念-
第8回 鎌倉静養館クラシックコンサート
5月18日(土)
16:00開演(15:30開場)
全自由席:2500円(前売り券のみ)

会場:日本基督教団 鎌倉教会礼拝堂
主催:社会福祉法人 鎌倉静養館 後援:鎌倉市
お問い合わせ先:鎌倉市市民センター 鎌倉静養館
TEL: 0467(22)3245

一特養鎌倉静養館設立30周年記念-
第8回鎌倉静養館クラシックコンサート
5月18日(土) 於:日本基督教団鎌倉教会



「材木座あじさいの家」1周年

施設長 柏木 聡

当事業所「材木座あじさいの家」も開所してから1年を迎えることができました。これもひとえに地域の皆様のご理解、ご協力によるものです。小規模多機能型居宅介護の経験者が一人もいない中で、現在ご登録いただいている方々にサービス提供が出来るのは、私どものまだまだ至らない部分についてご理解、ご協力をいただいている皆様に拠るところが大きいと自覚しております。

ご利用者皆様の個別的なニーズに出来る限り応えていけるようなサービス提供を心掛けてきたつもりではございますが、地域という社会資源を十分に使えたものとなっているか?と問われれば不十分ではないかと思っております。

お一人お一人が出来る限り住み慣れた家(地域)で暮らし続けて行く事を支えるのが私どもの役割であるので、その地域により溶け込んで、地域の社会資源として皆様に認知されるよう、今後も努めて参りたいと思っております。



ご利用者が作成した表札



地域のフラダンス教室の皆様と...